

## 山本鼎の部屋の資料デジタル化

### 【デジタル化の目的】

現代の社会ではデジタル化が進んでおり、その対応が必要になっている。そのため現在の山本鼎の部屋の現状は時代遅れとも言える。また、学校側の視点から考えれば、山本鼎の部屋があるため来訪者への対応が必要になり、負担が大きいと考える。また、山本鼎は神川にゆかりのある人物であり、児童自由画や教育農民美術運動によって社会に多大なる影響を与えた重要な人物であるが、知名度は低い。そのため、まずは神川小学校の児童に山本鼎について知ってもらいたいと考えている。その手段として、タブレット端末を用いる。各小学校でタブレット端末を利用した授業が始まっていることに伴って、デジタル化した資料を基に学習してもらいたい。児童が機器の使い方に慣れると同時に、山本鼎への理解を深めていってほしいと考えている。

### 【デジタル化による効果】

#### ①児童の学習に役立てることができる

タブレット端末を使うことで子供達が自主的に調べ、新たな発見につながる。自分自身で学習ができるため、楽しさを感じながら学習ができる。

#### ②管理の負担が少なくなる

来訪者への対応をする必要がなくなる。

#### ③資料が活用される幅が広がる

今は神川小学校山本鼎の部屋だけにとどまっている資料であるが、ネットに出すことで、地域の方や興味を持った方に資料の提供ができる。

### 【デジタル化の方法】

お借りした資料を長野大学に設置されているスキャンスナップで読み込むことでデジタル化する。